

校長通信 調和

発行
校長 寺島克彦
〒384-0023
小諸市東雲4-1-1
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟



分散授業開始・久しぶりの学校はどうですか?! いっしょに頑張りましょう!

5月18日、月曜日の朝、久しぶりに会った三年生の「おはようございます」の笑顔に、エネルギーをもらいました。学校は生徒が作っている。皆さんのエネルギーが私たち教職員を動かしていることを実感した朝でした。

元気に学校に戻ってきてくれてありがとう! 小諸高校の職員一同、皆さんの登校を心待ちにしていました。ここから、皆さんの未来に向けての仕切り直しです。一緒にがんばりましょう!

学校休業中、次々送られてくる課題。新緑の爽やかな季節なのに Stay Home の毎日、報道ではコロナ禍のことばかり、インターハイの中止に伴う、県高体連大会の中止。夏の甲子園も吹奏楽コンクールもNコンも中止。三年生の皆さんは、きっと何ともやりきれない気持ちであることでしょう。

これまで描いてきた理想の高校生活のイメージ。その締めくくりが全く想像できなくなってしまった今、進路に気持ちを切り替えるタイミングも逸してしまったような感じでしょうか。

中学、高校と、中には小学校時代からその運動競技や芸術活動に打ち込んできた皆さんもいると思いますが、これまで、その活動の中でどんなことを学んできたでしょうか。皆さんのその活動は常に順風満帆、何の障害も苦労もなくここまで来たでしょうか。おそらくそんな人は誰一人いるはずもなく、むしろここまで打ち込んできた皆さんは数々の壁を乗り越えてきたからこそ、その楽しさを知っているのではないのでしょうか。

今、最も求められているのは、人間一人ひとりの考える力と、主体性を持った行動力です。

あらゆる場面で「これまでにない対応」を求められている今。差別、偏見、デマ情報に惑わされず、自分は何をすべきなのか、しっかりと考える力が必要であること。

ただ学校に行けば何とかかなと思っていた「学び」については、学校に行く以前に主体性・自ら学ぶ姿勢が必要であることをこのコロナ禍で実感したと思います。

大会やコンクールでその力を発揮することは出来ませんでした。これから皆さんの目の前にある多くの課題に取り組む今こそ、これまで「スポーツや芸術活動で身に着けた、真の力を発揮する時」です。

生徒会活動では、文化祭での一般公開は出来ませんが、模擬店もできません、十分な準備時間もとれません。でも、皆さんの高校生活の大切な思い出となるものは何かできるはずです。

教室で仲間と一緒に勉強することは大変意義のあることですが、それ以上に家庭学習をしっかりとしないと何も身に付かないことはこれまでも言われていたこと。この休業中、一人黙々と練習や学習に励んだあなたは、さらに「自ら学ぶ力」も意欲も高まったはずです。

先生方はこれまで同様、しっかりと皆さんをサポートします。

ぜひ、あなたがこれまで培った頑張る力を今、発揮してください。



新しい生活様式?!

これからは with コロナの時代の中にあって、「新しい生活様式」が求められています。

人と人との間隔は、できるだけ2m空ける。会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。帰省や旅行は控えめに。買い物は1人または少人数ですいた時間に。食事の大皿は避けて、料理は個々に、おしゃべりは

控えめに。冠婚葬祭では大人数での会食は避けて。歌や応援は、十分な距離かオンライン。

でも、人は一人では生きていけないことは変わりません。これまで人間は結びつき、理解し合うことができるように、あらゆる手段を講じて、それを実行してきました。今、不要不急と言われてしまう殆どのは「人と人とを繋ぐために行ってきたこと」なのではないでしょうか。

この通信の名前 harmony「調和」はギリシャ語の harmonious「接合、結合、一致」が語源です。

芸術の art も原義は「つなぎ合わせる」であり、「ar」という語根が「結び合わせる」という意味を持っていて art は「結び合わせる技術の才」を意味していますし、腕 arm も同じ語根に由来しています。(『数字と科学から読む音楽』西原稔、安生健共著より)

しかし、コロナ禍の今、これまで行ってきたその大切な手段が実行困難な状況になっています。でも、そこが人間。一方では、もう既に新しい方法を生み出し、実行している方たちもいます。

ミュージカル俳優の山崎育三郎さん・濱田めぐみさんら、総勢 36 人がオンラインで集って作成された、ミュージカル「レ・ミゼラブル」の「民衆の歌」を歌った動画が話題になりました。[Shows at Home]というタイトルで 4 月 25 日に公開されて以来、5 月 21 日現在 400 万回以上再生されています。

この歌は劇中で、政府軍に立ち向かうパリ市民の歌として歌われるのですが、不思議と聴く者の心を高ぶらせる曲です。話題の動画は、Web 上の演出効果もあって、その音楽の感動と共に、人との結びつきを強く感じさせてくれます。

日本の俳優たちが配信する前に、既に海外ではこの運動が起こっていたようですが、これを考えた人の芸術的な能力と行動力の高さに、ひたすら敬服するところです。

(<https://www.youtube.com/watch?v=0Eax4cw6QFA>)

一方ではコロナ感染者のデマ情報や感染者に関する誹謗中傷など、間違った方向に人が結びついてしまった辛く、人としてあまりにも情けない事例も聞かれます。

arm が複数形になると、arms「武器」ですね。人は間違った結びつきかたをすると、大変恐ろしい武器にもなりかねません。

さあ！あなたの高校生活が再開・restart しました！

小諸高校生である皆さんには、ぜひ、新しい生活様式の中にあって「皆さんと皆さんを取り巻く全ての人の幸せな未来に向けて、人と人とを結びつけ、協働して課題を解決する方法」を考え、実行してほしいと心から願っています。頑張れ小諸高校生！

ミュージカル「レ・ミゼラブル」から「民衆の歌」

Do you hear the people sing?
Singing a song of angry men?
It is the music of a people
Who will not be slaves again!
When the beating of your heart
Echoes the beating of the drums
There is a life about to start
When tomorrow comes!

民衆の歌が聞こえるか？
怒れる者たちの歌う声
それは民衆の歌う歌
二度と奴隷にはならない者の歌
あなたの胸の鼓動が
ドラムの響きと重なって
明日が来れば新たな暮らしが始まるのだ

《劇団四季歌詞》

戦う者の歌が聞こえるか
鼓動があのだらと響き合えば
新たに熱い命が始まる
明日が来た時 そうさ明日が

(中略)

列に入れよ われらの味方に
砦の向うに 憧れの世界
みな聞こえるか ドラムの響きが
彼ら夢見た 明日が来るよ
ああ 明日が